



インフルエンザの季節到来 感染を予防しましょう!

平成 29 年 12 月 20 日
富山県感染症情報センター
(直 0766-56-5431)
(直 0766-56-8142)

感染症発生動向速報

(平成 29 年第 50 週分・12 月 11 日～12 月 17 日)

《 インフォメーション 》

●インフルエンザ

今週、インフルエンザの報告数が定点医療機関あたり 1.44 人となり、先週 (0.79) から増加しました。流行開始の目安である定点あたり 1 人を上回ったことから県内でも**インフルエンザが流行シーズンに入った**と考えられます。第 49 週には今季初のインフルエンザによる学級閉鎖の措置が高岡市内の小学校 1 校でとられました。

9 月から現在までの全国のインフルエンザウイルス検出状況は、AH1pdm09 が 260 件 (50.6%)、AH3 (香港型) が 130 件 (25.3%)、B 型が 124 件 (24.1%) となっています。県内でも AH3 が 4 件分離されています。

今後インフルエンザの報告数は増加します。次のことに注意して感染予防等に努めてください。

なお、小児・未成年者の異常行動による転落などのリスクを軽減するため、インフルエンザにかかった時は、抗インフルエンザウイルス薬の種類や服用の有無によらず、異常行動にご注意ください。



- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 集団生活施設では、可能な場合、流行期の全員マスクの着用が効果的
- 意識がもうろうとするなどの重症感がある場合は、直ぐに医療機関を受診

《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 1 件 (第 49 週診断分: 40 歳代、女性)

五類感染症 アメーバ赤痢 2 件 (①40 歳代 ②50 歳代 ①②ともに男性、腸管アメーバ症)
後天性免疫不全症候群 1 件 (30 歳代、男性、無症候)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	9.45	11.86	↓
2 位	咽頭結膜熱	2.76	2.66	↑
3 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.93	1.59	↑
4 位	手足口病	1.76	2.62	↓
5 位	インフルエンザ	1.44	0.79	↑
6 位	R S ウイルス感染症	0.52	0.52	→
	水痘	0.52	0.31	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第50週 平成29年12月11日～平成29年12月17日）

分類	疾患	今週報告分（第50週）					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核						18	7	52	16	84	177	
三類感染症	細菌性赤痢								1		2	3	
	腸管出血性大腸菌感染症						1	2	14	2	13	32	
四類感染症	E型肝炎										1	1	
	A型肝炎						2				1	3	
	つつが虫病						4				1	5	
	デング熱										3	3	
	レジオネラ症						6		9	3	19	37	
五類感染症	アメーバ赤痢			1	1	2	1		1	1	4	7	
	ウイルス性肝炎						1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症						2			4	2	8	
	急性脳炎						1		1		2	4	
	クロイツフェルト・ヤコブ病										2	2	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1	2		5	8	
	後天性免疫不全症候群					1	1		1		8	9	
	ジアルジア症						2		1		1	4	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症								2	1	3	6	
	侵襲性肺炎球菌感染症						7		5	3	21	36	
	水痘（入院例）								2		1	3	
	梅毒						1		5	1	8	15	
	播種性クリプトコックス症											2	
	麻しん										1	1	
	定点疾病 (下段は定点当 たりの患者数を示 す)	インフルエンザ	5	6	32	4	22	69	1,897	1,381	2,515	1,575	3,489
		0.71	1.20	2.46	0.57	1.38	1.44						
RSウイルス感染症		1		4	2	8	15	87	77	312	209	759	1,444
		0.25		0.50	0.50	0.80	0.52						
咽頭結膜熱		23	4	21		32	80	176	88	289	68	421	1,042
		5.75	1.33	2.63		3.20	2.76						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		4	3	26	5	18	56	174	75	859	260	871	2,239
		1.00	1.00	3.25	1.25	1.80	1.93						
感染性胃腸炎		35	34	74	28	103	274	1,686	1,042	1,728	713	3,949	9,118
		8.75	11.33	9.25	7.00	10.30	9.45						
水痘			4	2	7	2	15	8	39	117	64	150	378
			1.33	0.25	1.75	0.20	0.52						
手足口病		2	9	27	2	11	51	265	246	1,296	314	1,167	3,288
		0.50	3.00	3.38	0.50	1.10	1.76						
伝染性紅斑								1	1	5	1	20	28
突発性発しん		1		3	3		7	56	37	216	78	142	529
		0.25		0.38	0.75		0.24						
百日咳										2			2
ヘルパンギーナ			1				1	67	50	263	121	138	639
			0.33				0.03						
流行性耳下腺炎		2	1			1	4	175	73	423	78	368	1,117
		0.50	0.33			0.10	0.14						
急性出血性結膜炎										4	2	1	7
流行性角結膜炎	1	1				2	1	6	234	26	8	275	
	1.00	1.00				0.29							
細菌性髄膜炎							1				1	2	
無菌性髄膜炎							1				5	6	
マイコプラズマ肺炎				1		1	9	3	18	16	24	70	
				1.00		0.20							
クラミジア肺炎					1	1	1	1		1	4	7	
					1.00	0.20							
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							10		15	21	12	58	
インフルエンザによる入院患者（*）				1		1				14	4	18	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週(9月4日)～の集計です。

インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。

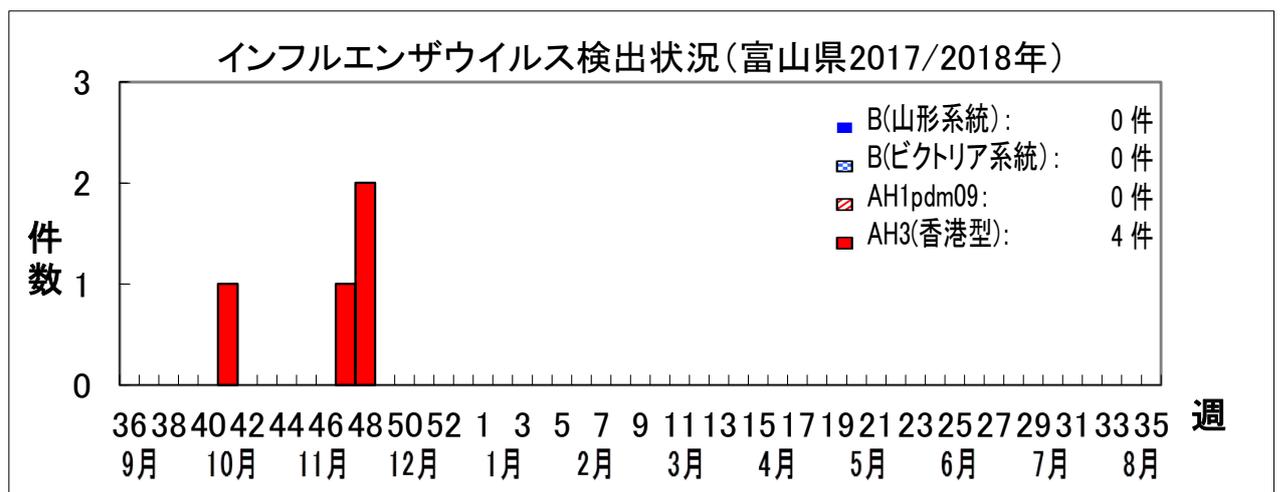
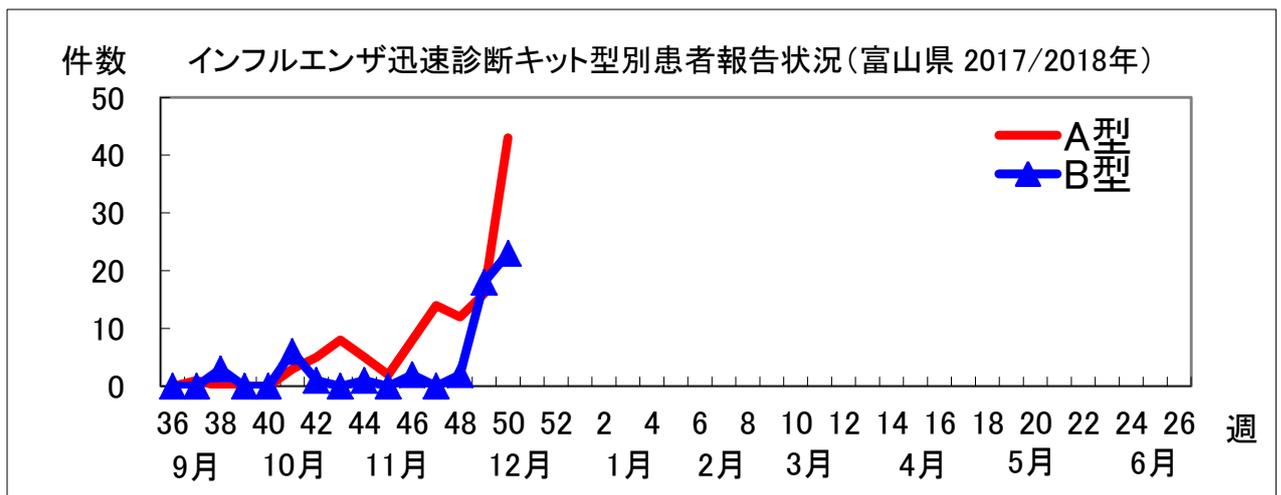
現在、下の表によると、A型が62.3%、B型が33.3%となっています。

第50週(12/11~12/17)：富山県 1.44人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	3 / 7	5	0	0	5
中部	2 / 5	5	0	1	6
高岡	8 / 13	9	21	2	32
砺波	3 / 7	4	0	0	4
富山市	7 / 16	20	2	0	22
富山県	23 / 48 ^{※1}	43	23	3	69
富山県累計(2017年36週~)		117	56	9	182

※1 報告定点数の例(11/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が11か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



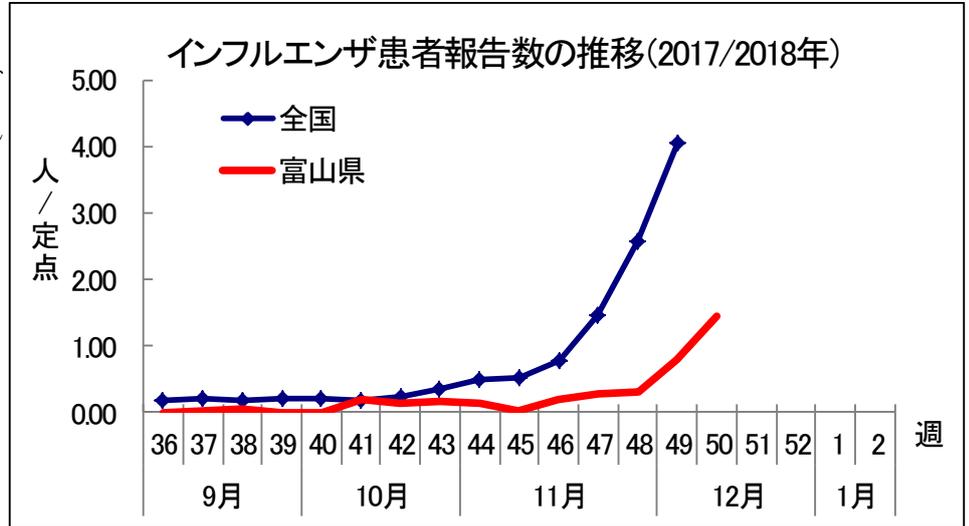


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第50週 (12/11~12/17) : 富山県 1.44人/定点

新川 HC (0.71)、中部 HC (1.20)、高岡 HC (2.46)、砺波 HC (0.57)、富山市 HC (1.38)

県内は定点医療機関あたり1人を超えました。今シーズンも流行期に入ったとみられます。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第49週 (12/4~12/10)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり4.06人となり、前週の2.58人より増加しました。46都道府県で前週より増加しています。

